

【相談】



YAMAWA指定で切削ダイスを発注したら、ソリッドダイスが入荷しました。一般的な切削ダイスは、調整ねじがついているダイス（調整ねじで寸法調整できる）が、正規品ではないのですか？また、ソリッドダイスは調整式ダイスより、使い方が難しいのでしょうか？色々分からないので教えてください。

【回答】

当社は、使いやすい切削ダイスを市場に提供するため、切削ダイスを全てソリッドダイスにしました。また、切削ダイスは調整式ダイスが、正規品と決まっている訳ではありません。「JIS B 4451 ねじ切り丸ダイス」の規格には、ソリッドダイスとアジャスタブルダイスの2種類が規定されています。更に、現在の加工現場の状況から考えれば、一番使いやすいダイスは、ソリッドダイスの方だと思いますよ。

ソリッドダイス:D



【ソリッドダイスへ移行の経緯】

調整式ダイス（調整ねじ付きアジャスタブルダイス）は、加工するおねじの寸法に合わせて、調整ねじを自分で回しながらダイスの寸法を微調整して使用いたします。昔は、熟練の作業者がダイスを微調整して、1級おねじや2級おねじを1つの調整式ダイスで加工していたようです。

更に、ダイスを再研磨して使用することもあったため、再研磨後には調整ねじを微調整して使用する必要がありました。

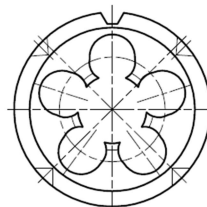
しかし、近年はダイスの微調整を行なえる熟練作業者が激減し、簡単にダイスをホルダへ装着して使用するだけで、目的のおねじ精度が得られるダイスが求められてきています。

このように、加工現場からの要求事項が、急速に変化してきているため、当社は全てのダイスをソリッドダイスに推進しているのです。

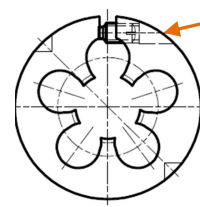


【ソリッドダイス:D の利点と優位点】

- メーカー出荷時に加工おねじの寸法が保証されているので、熟練作業者でなくとも良好に加工を行うことができます。
- ソリッドダイス:D は、割が無いので広がらず、加工されるおねじの寸法が、非常に安定しています。
- 割が無いので、外径の歪みや面歪みが少ないため、振れがなく、良好な加工おねじ精度とおねじ肌面が得られます。
- ダイス材質は、HSS（高速度工具鋼）なので、高い工具寿命が得られます。



ソリッドダイス



調整式ダイス

最適おねじ寸法を得るには、調整ねじを自分で微調整する必要があります。

